

2. 建築計画

2-1. 動線計画・施設構成

動線計画

多様なアプローチ動線

大供交差点から立体的な広場を楽しみながら、2階の市民窓口フロアに直接アプローチできます。また多様な来庁手段に応じ、適切な位置に出入口を設けます。

アクセスしやすい車動線

庁舎西側の県道173号線交差点から東に直進すると、地下駐車場へのスロープにアクセスします。



1階アプローチイメージ



2階アプローチイメージ

施設構成

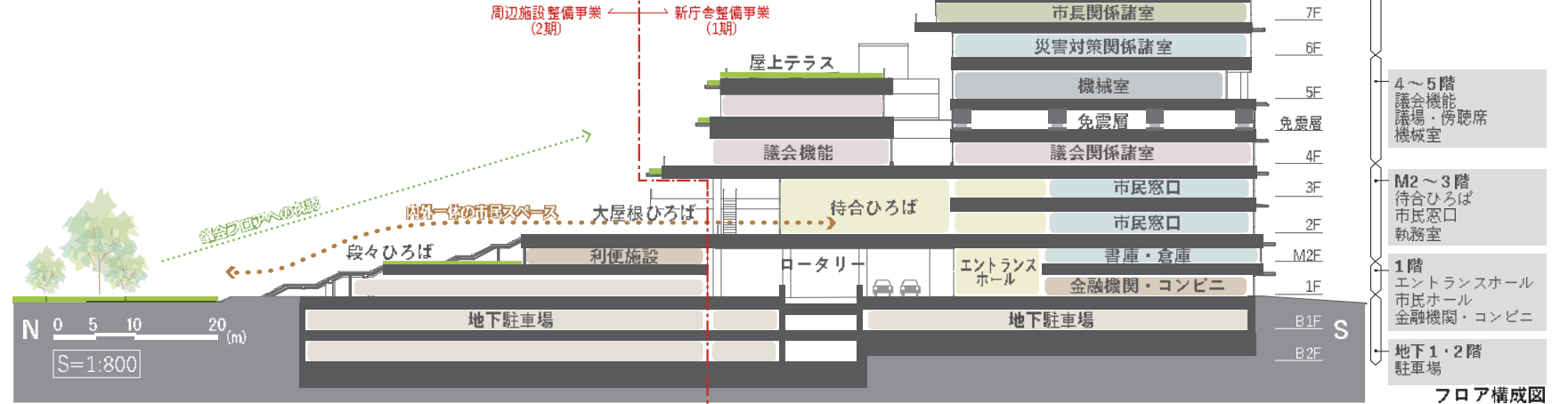
広場と連続し、市民に開かれた断面構成

2階の市民窓口にある待合ひろばは、大屋根ひろばとつながり、屋内外が一体となった市民スペースを実現します。庁舎1階のエントランスとつながる車寄せ・ロータリーは大型バスが利用できる高さを確保するとともに、一部に中2階を設けて、スペースの有効利用を図ります。

議会機能は、市民に開かれた身近で親しみやすい議会として、ひろばからも視認できる4～5階に設けます。

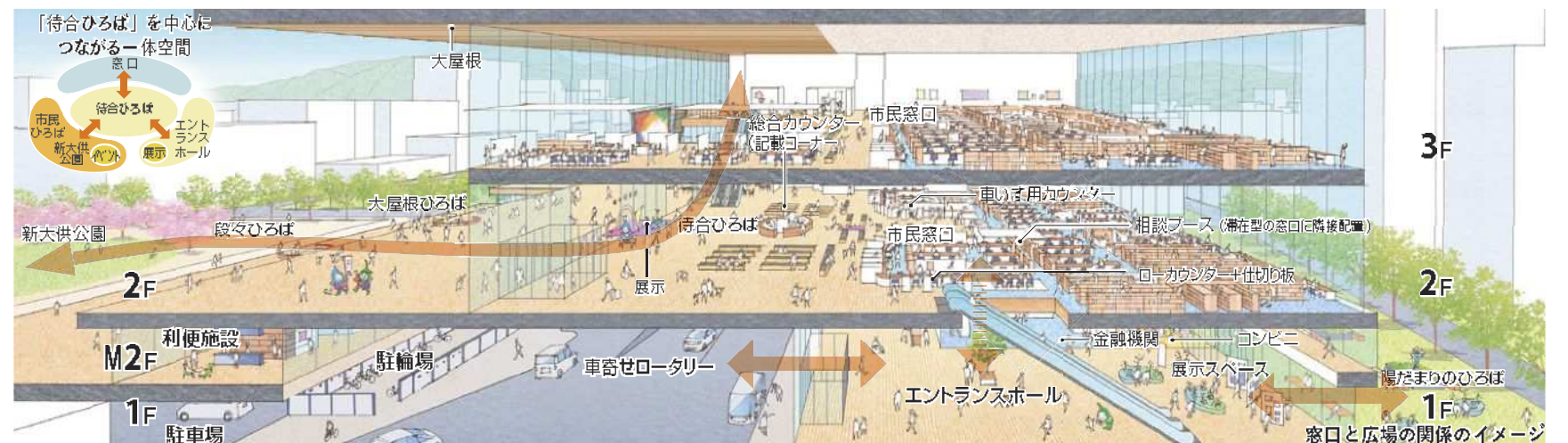
段階的に形成される街並みとの連続性

周辺施設整備事業（2期工事）の便利施設は、ひろばに面してカフェ・レストラン等の店舗を設け、公園や立体回遊広場と融合して、街並みと賑わいを形成します。また便利施設の屋上は、市民ひろば（段々ひろば・大屋根ひろば）とも親和性を持たせることで、大供交差点から庁舎窓口までの緑の連続性と相まって、くつろぎやにぎわいの空間を形成します。



新大供公園～段々ひろば～大屋根ひろば～待合ひろば～窓口まで、内外のひろばが連続し、賑わいが生まれる空間構成

段々に連続する3つのひろばと2層吹抜けの待合ひろばを連続させ、緩やかな階段等で繋ぐことで、車いす・ベビーカー、高齢者など誰にとっても分かりやすく、利用しやすい施設づくりを行います。加えて、1階の市民ホール・南側の陽だまりのひろばとエスカレーターで繋ぐことで、1～3階まで様々な活動が連続し、賑わいの核となる空間を形成します。

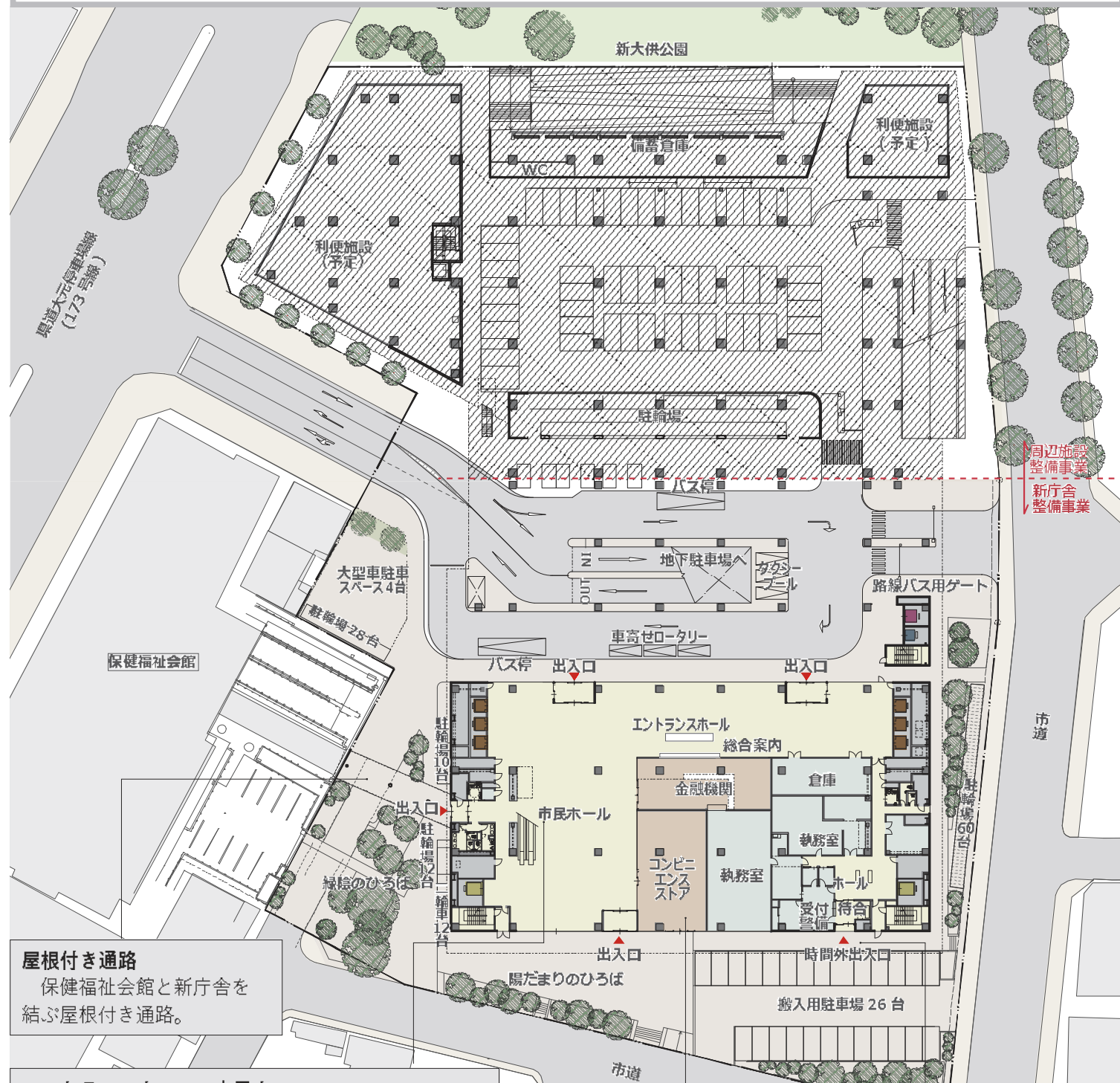


窓口と広場の関係のイメージ

2-2. 各階計画

1階 (配置図) 車寄せ・ロータリーを中央に据えた庁舎の主玄関

- 車寄せロータリーをエントランスホール出入口前まで引込むことでアプローチ距離を最小化するとともに、来庁者を雨天時にも濡れることなくお迎えし、わかりやすいサインによる誘導で目的の場所に導きます。
- 公共交通利用者の利便性を高めるため、ロータリー内にバス停留所及びタクシープールの設置を計画しています。(事業者と調整中)



屋根付き通路
保健福祉会館と新庁舎を結ぶ屋根付き通路。

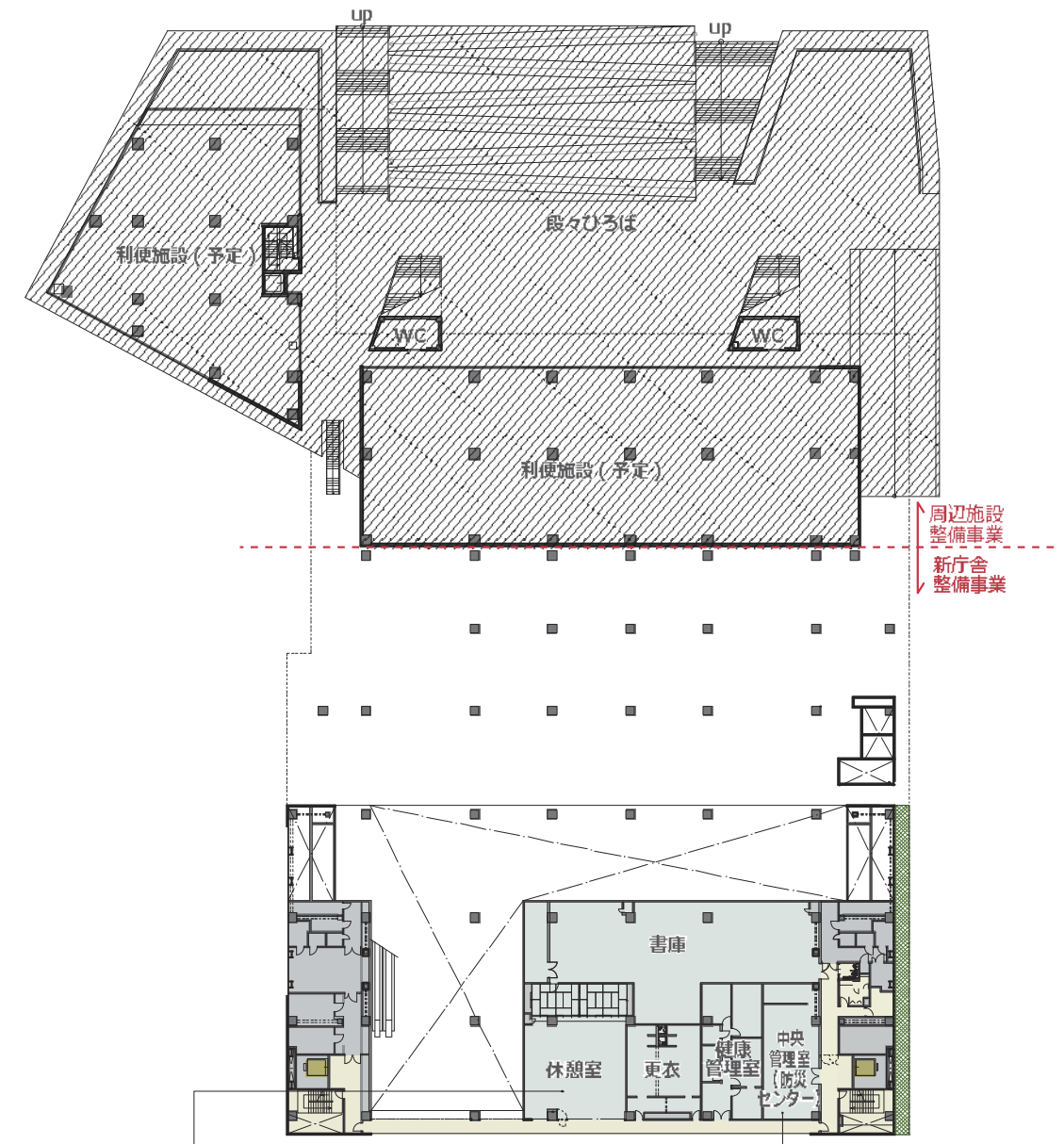
エントランスホール・市民ホール
市政情報の発信やイベント、企画展など、市民交流が可能な展示スペース。選挙期間中は期日前投票所、災害時には一時避難所として利用が可能。

コンビニエンスストア
閉庁時の利用も可能で、来庁者・職員の利便性を図る。

時間外出入口
戸籍関係の届出など休日・夜間における各種手続きを受付。

中2階 中央管理室 (防災センター) 他

- 庁舎の照明・空調換気・衛生設備や防災機器を操作するとともに、火災時には消火活動の中核を任う中央管理室を配置します。
- 2・3階市民窓口フロアのバックヤードとして、休憩室や更衣室を設置します。



更衣室・休憩室
窓口職員の更衣・休憩室など、2・3階市民窓口のサポートエリア。

中央管理室 (防災センター)
庁舎の照明・空調換気・防災機器を操作する管理室。庁舎火災時には消火活動の中核となる。

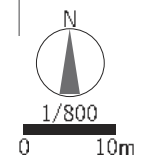
EV 凡例

- 乗用 (高層)
- 乗用 (低層)
- 非常用 (高層)
- 非常用 (低層)

エリア凡例

- 共用エリア
- 行政機能
- 議会機能
- 市長関連機能
- 設備機能
- 駐車場
- その他

周辺施設整備事業 (2期) (基本計画検討中)

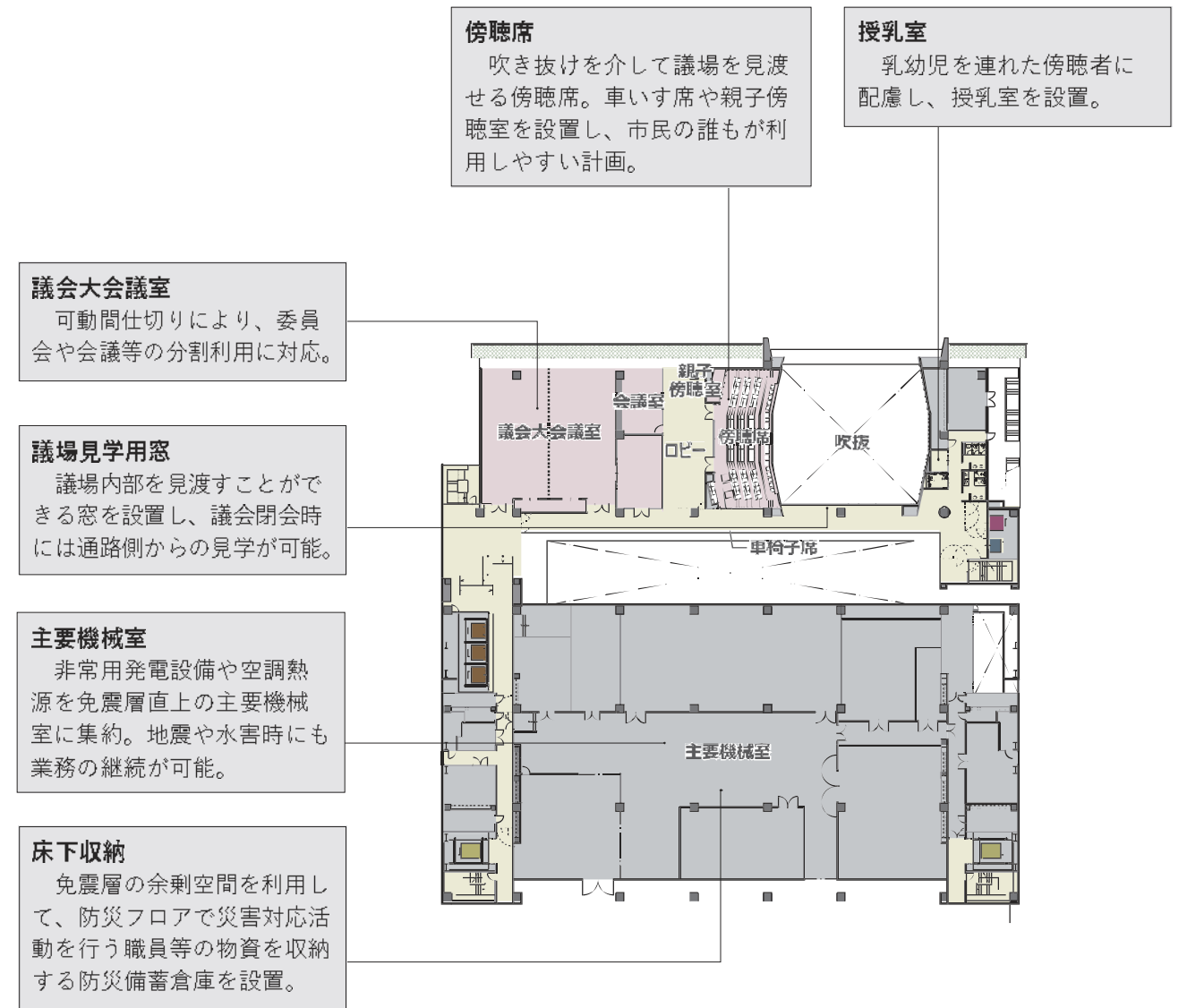
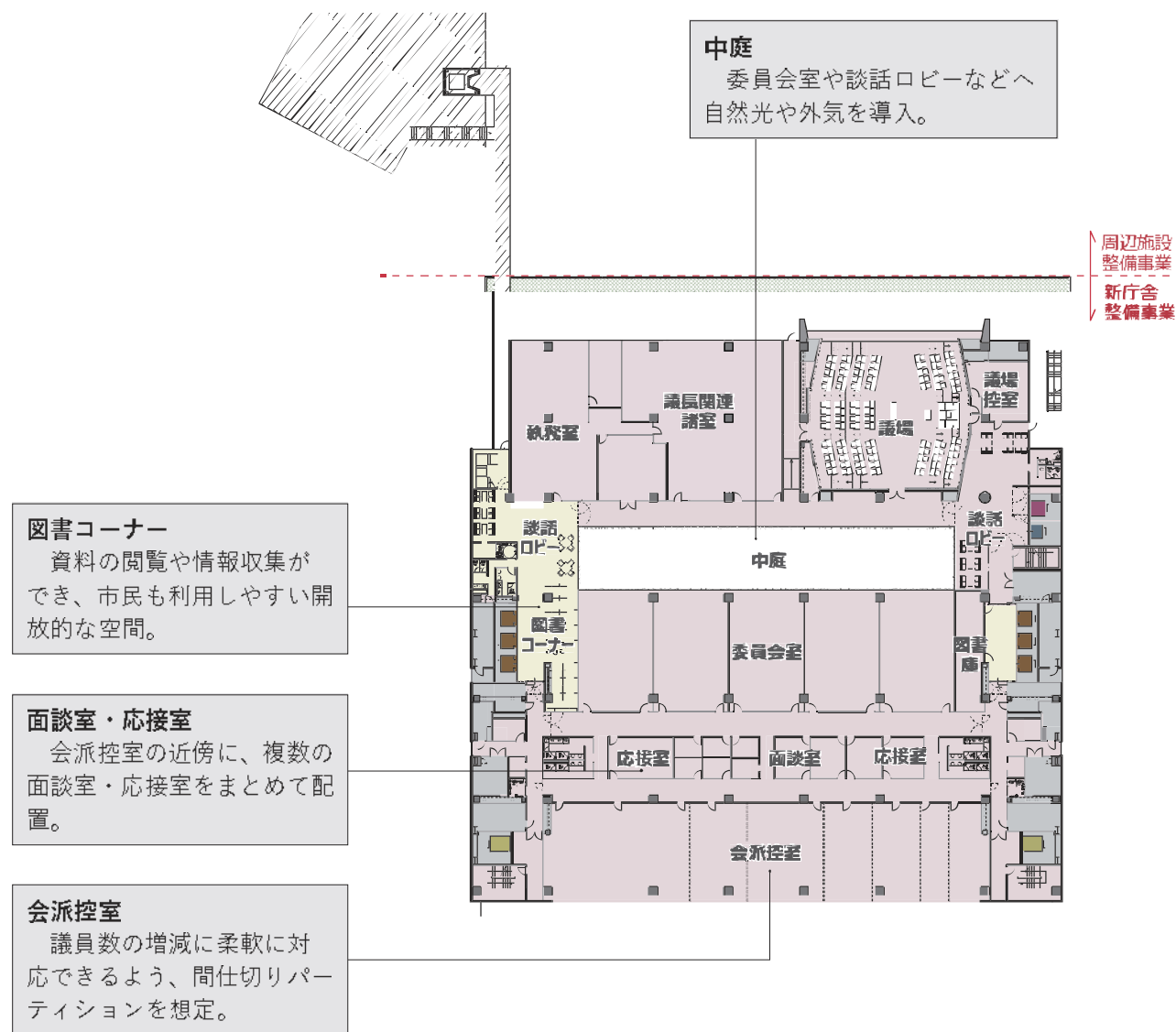


4階 議会関係諸室

- 議会の独立性を保ちながら、効率的かつ機能的に議会運営が行えるよう、議会機能を4階と5階に集約します。
- 議場は新大供公園側の低層階に配置し、市民に開かれた身近で親しみやすい議場とします。

5階 議会関係諸室および主要機械室

- 傍聴席・記者席は議場フロアと分離し、エレベータで直接アプローチできる動線とします。
- お子様連れや車いす利用者の方の傍聴も想定し、親子傍聴室や車いす席を設置します。
- 5階に主要機械室を配置することで、庁舎の主要機器を地震・水害から守り、大規模災害時の業務継続性を確保します。

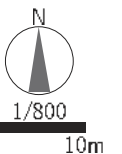


EV 凡例

乗用 (高層)	乗用 (低層)
非常用 (高層)	非常用 (低層)

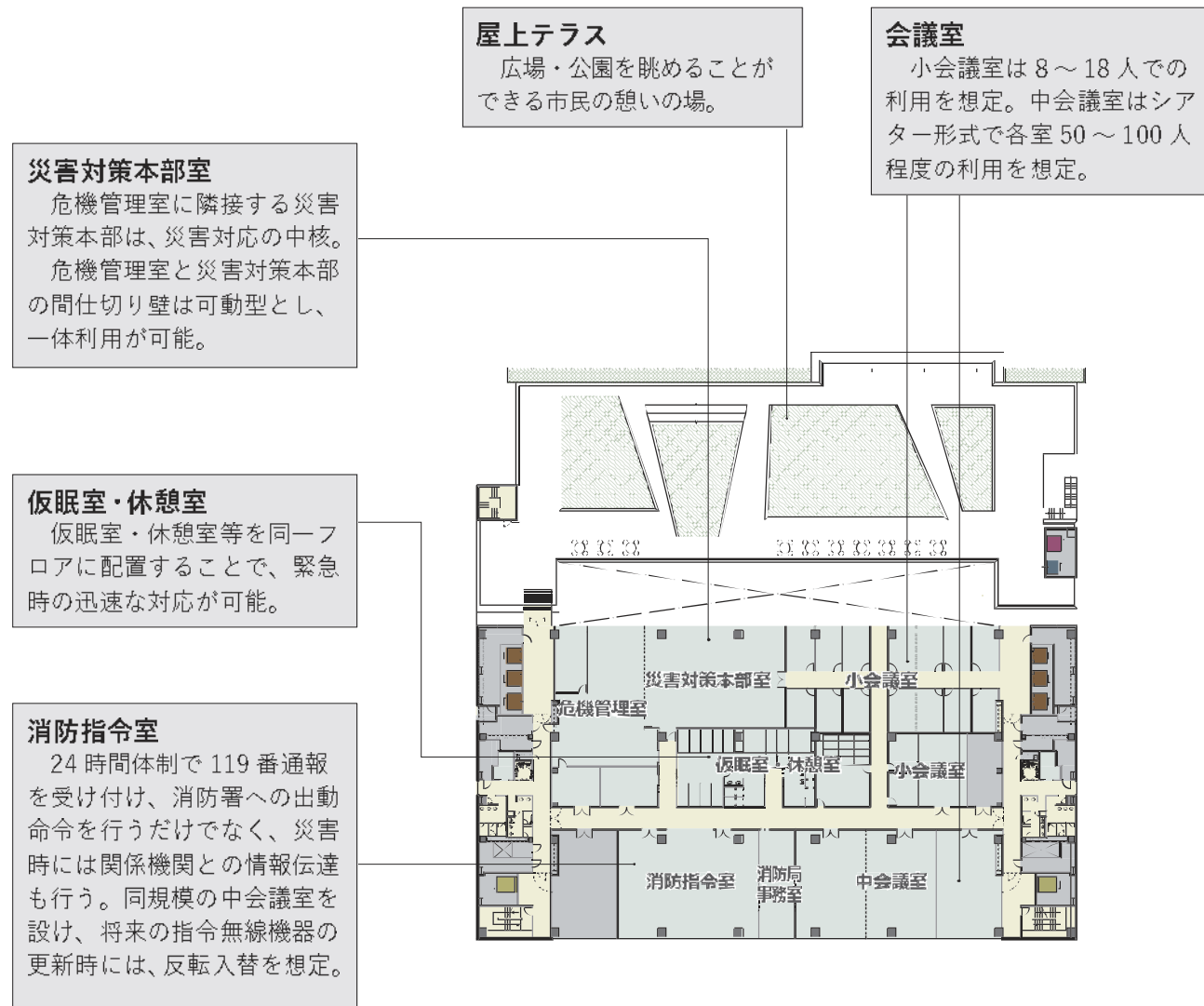
エリア凡例

共用エリア	議会機能	設備機能	その他
行政機能	市長関連機能	駐車場	



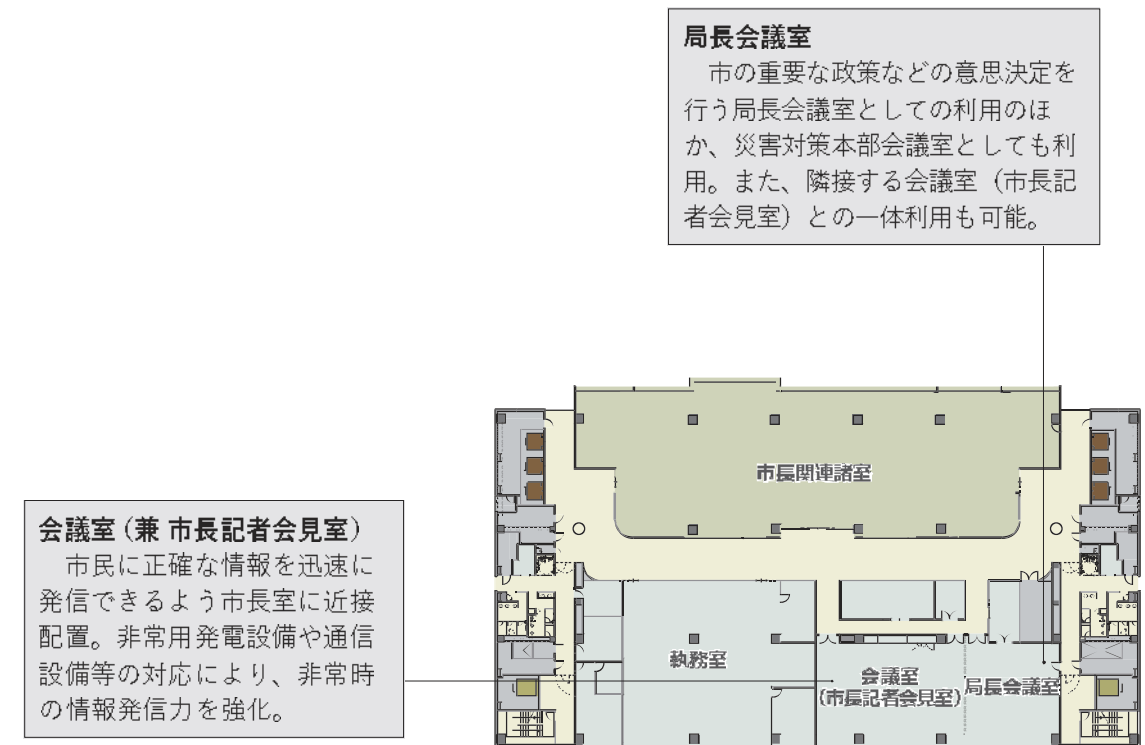
6階 災害対策関係諸室

- 地震や水害の影響を受けにくい免震層の上階で、地上から比較的アクセスしやすい6階に災害対策本部や危機管理室などを集約し、防災拠点機能を高めます。
- 小・中会議室を集約して効率的な運用を図るとともに、大規模災害発生時には、他都市からの応援職員の受け入れが可能です。



7階 市長関係諸室

- 市の重要な政策を意思決定する市長室・副市長室・局長会議室などを配置するとともに、防災フロアの直上階に配置することで連携を強化し、災害時のコントロール機能を高めます。

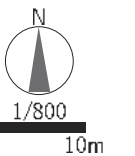


EV 凡例

乗用(高層)	乗用(低層)
非常用(高層)	非常用(低層)

エリア凡例

共用エリア	議会機能	設備機能	その他
行政機能	市長関連機能	駐車場	



8-14階 執務室

- 階段・エレベーター・設備スペースなどを東西両端にまとめることで、中央に大空間のワンルームオフィスを確保し、将来的な執務環境の変化にも柔軟に対応できる執務空間とします。
- 北側の吹抜け階段は、日常の上下階移動に使用するとともに、中間期には吹抜けの煙突効果による自然換気を誘発するエコポイドとしての役割を果たします。

エコポイド

中間期（春・秋）は吹抜の煙突効果により、自然換気を誘発するエコポイドとして機能。夏季は涼しい夜間時に自然換気を行い、翌朝の空調立ち上がり時の冷房負荷を低減するナイトページを活用。

両端コア

エレベーター・階段室・便所・給湯室・設備配管スペースで構成される建物の骨格（これを「コア」という）を両端に配置。日射負荷の大きな東西面に対して、このコア配置は、日射負荷を効果的に低減。

執務室

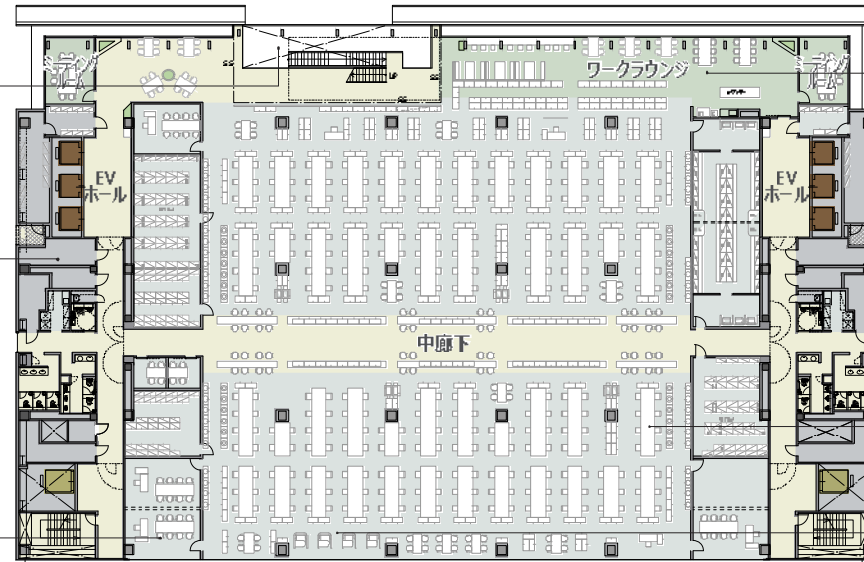
両端コアの採用により、フロア中央部が南北に開かれた見通しのよい大きな執務スペースを確保。ユニバーサルレイアウトを採用し、機構改正や人事異動にも柔軟な対応が可能。

ミーティングルーム・局長室

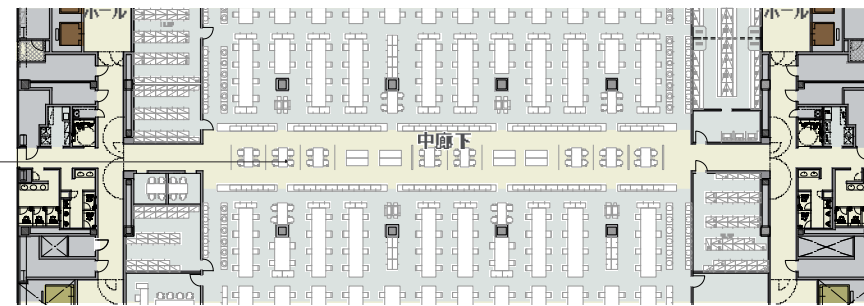
ミーティングルームや局長室などの個室型執務室、書庫や収納庫など壁での間仕切りが必要な室は、両端コアに近接配置。

可変性

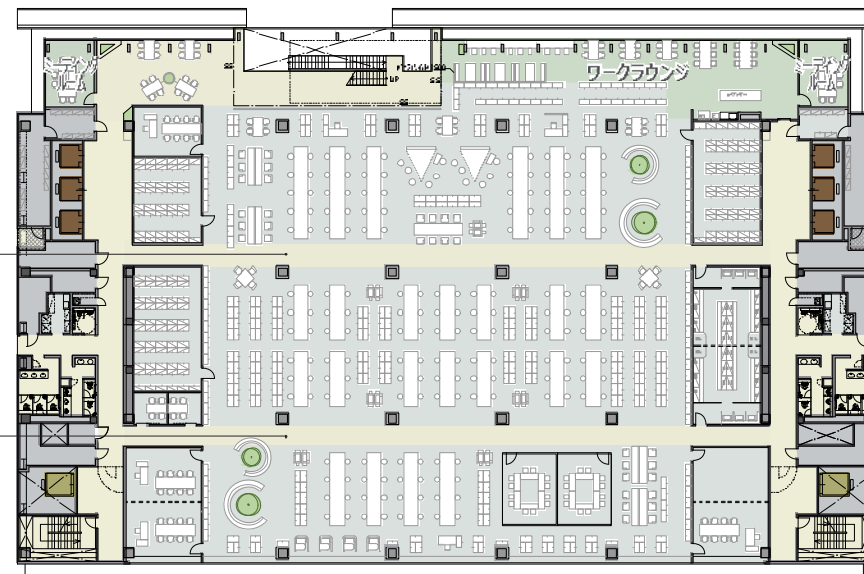
中廊下型レイアウトを採用し、来庁者との打合せが多い部局においては、中廊下中央にも打合せデスクを配置。将来的な執務レイアウト変更に対して、2廊下型の対応も可能。



中廊下型レイアウト図



中廊下打合せ型レイアウト図



中央2廊下型レイアウト図

ワークラウンジ

吹抜空間（エコポイド）に近接するワークラウンジは、作業・打合せなどの執務スペースとしての利用だけでなく、休憩時間のリフレッシュの場としても利用でき、多様な働き方に対応したスペース。



ユニバーサルレイアウト

組織変更時の柔軟性や執務空間の効率化を目指すとともに、将来的には、その日の業務に応じて働く場所を決めるグループアドレスやフリーアドレスにも移行できる執務環境。



ミーティングスペース

数人が集まって行う共同作業や個人で集中できるスペース、立ったままで執務や打合せができるなど、多様な働き方に対応したスペース。



EV 凡例

- 乗用（高層）
- 乗用（低層）
- 非常用（高層）
- 非常用（低層）

エリア凡例

- 共用エリア
- 行政機能
- 議会機能
- 市長関連機能
- 設備機能
- 駐車場
- その他
- 職員同伴入室



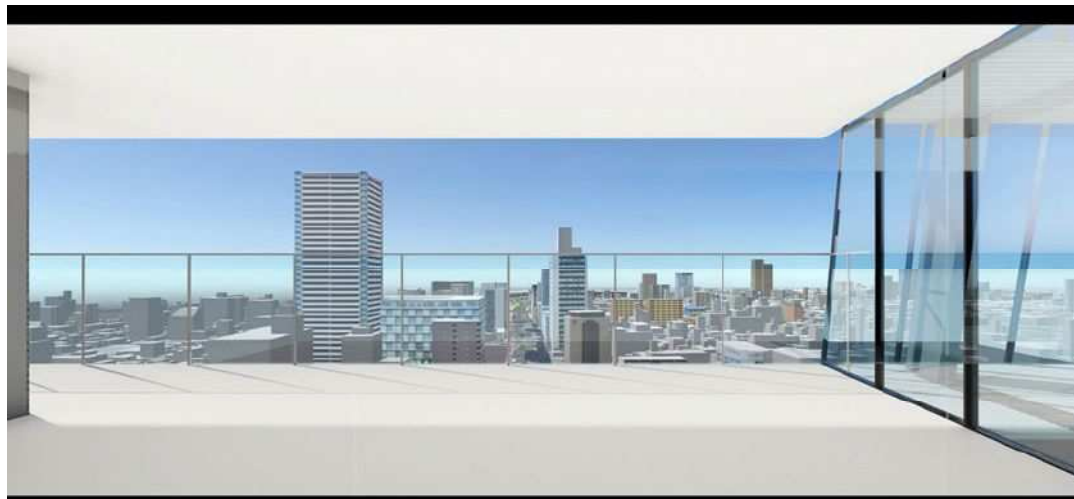
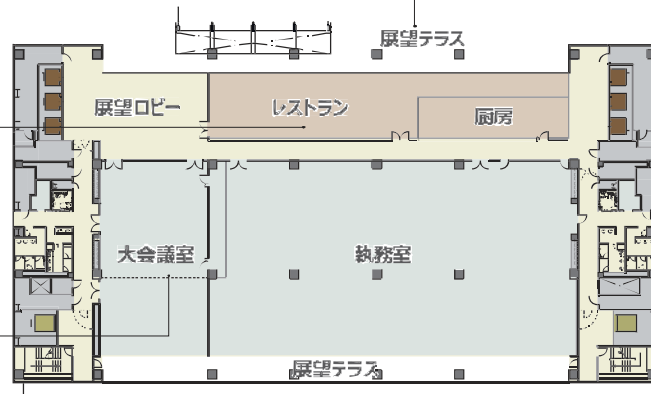
15階 大会議室、レストラン、執務室

○眺望の良い最上階に展望ロビーやテラス、レストランを配置し、中心市街地を眺められる場所として、市民や来訪者に開放します。

展望テラス
中心市街地のまちなみが眺望できるテラス。

レストラン
開けた眺望と地元食材を楽しめるレストランの設置を想定。セキュリティーに配慮しつつ、土日や夜間の閉庁時にも市民が利用できるよう計画。

大会議室
シアター形式で300人程度収容できる大会議室。可動間仕切りにより分割利用も可能。

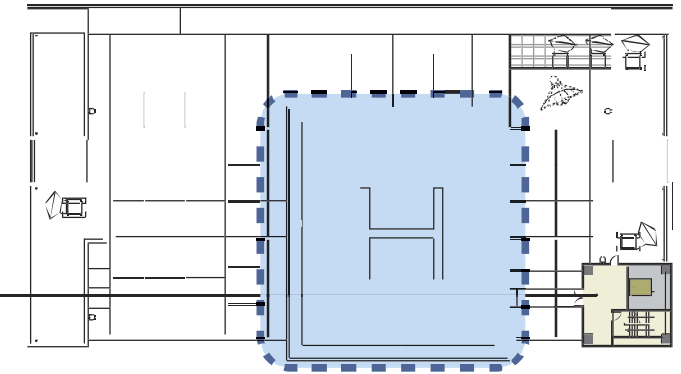


展望ロビーからの眺望 (イメージ)

塔屋階 ヘリポート

○屋上ヘリポートは、災害時等における人員輸送及び救助・防災訓練等の利用を想定し、利用制限のある緊急離発着場ではなく、事前許可があればいつでも使用できる飛行場外離着陸場とします。

非常用エレベーター
災害時の人荷の運搬をスムーズに行うため、非常用エレベーターはヘリポート床レベルまで着床が可能。



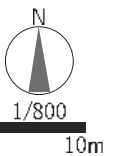
展望テラスからの眺望

EV 凡例

乗用 (高層)	乗用 (低層)
非常用 (高層)	非常用 (低層)

エリア凡例

共用エリア	議会機能	設備機能	その他
行政機能	市長関連機能	駐車場	



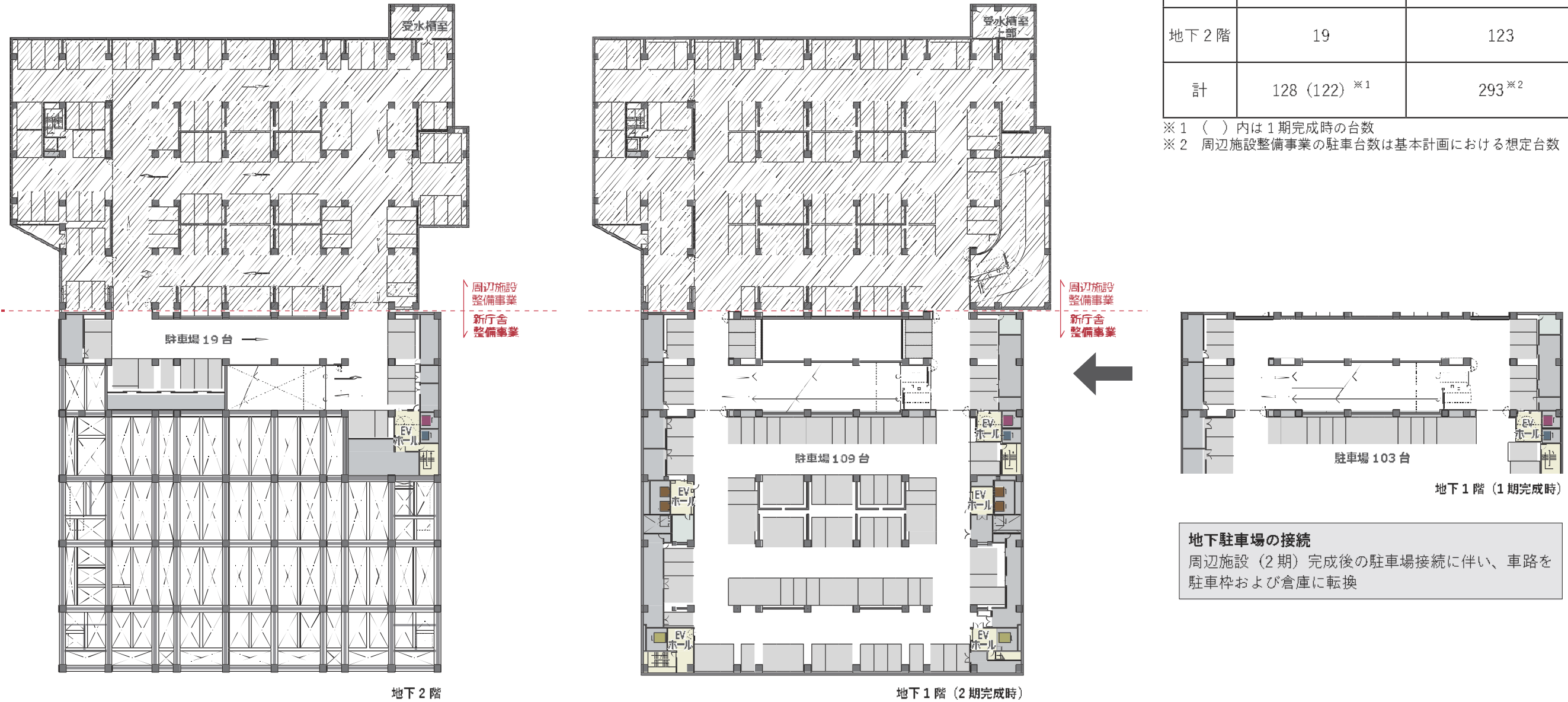
地階 駐車場

- 地下1階と地下2階には自走式の駐車場を設置し、新庁舎整備事業（1期）の完成時は公用車等駐車場として利用します。
- 周辺施設整備事業（2期）完成後は、車路部分を連結し一体的な駐車場としての運用を想定しており、公用車だけでなく、来庁者も利用できる新鹿田町駐車場を整備します。

駐車台数（周辺施設整備事業完成時）（単位：台）

	新庁舎整備事業（1期）	周辺施設整備事業（2期）
1階	-	50
地下1階	109（103） ^{※1}	120
地下2階	19	123
計	128（122） ^{※1}	293 ^{※2}

※1（ ）内は1期完成時の台数
 ※2 周辺施設整備事業の駐車台数は基本計画における想定台数



地下駐車場の接続
 周辺施設（2期）完成後の駐車場接続に伴い、車路を駐車枠および倉庫に転換

EV 凡例

- 乗用（高層）
- 乗用（低層）
- 非常用（高層）
- 非常用（低層）

エリア凡例

- 共用エリア
- 行政機能
- 議会機能
- 市長関連機能
- 設備機能
- 駐車場
- その他

